

豊島宣言

「豊かな島を返せ」という私たちの願い、それはかけがえの無いふる里を憂い、ここに生を受け、育まれる命を慈しむ者の心からの願いであります。

私たちは、今、五〇万トンを超える日本最大の有害産業廃棄物不法投棄事件に直面しています。

それは使い捨て社会が生み出した大量の廃棄物が、先祖から受け継いできた美しい島を奪うものでした。

こうした使い捨て社会の被害者は、いつも弱者である過疎地です。都会から不法に運び込まれた廃棄物を前にして私たちはただ『元の美しい島を返せ』という当然の、そして切なる願いを叫び続けているのです。

私たちの叫びは同時に我が国の廃棄物問題の在り方を問いかけるものであります。使い捨て社会からリサイクル社会への転換は豊島事件の解決にかかっているといっても過言ではありません。その意味で豊島事件はもはや豊島だけの問題ではなく、今後の我が国の廃棄物対策の行方を左右する問題でもあります。

そこで今この会場にご同席の皆様のご賛同を得て宣言します。

「私たちは豊島事件の解決を過疎地に犠牲を強いる使い捨て社会から、皆で取り組むリサイクル社会への転換点と位置付けるとともに、私たちが先祖から受け継いだ美しい島を子孫に伝えるためここに有害産業廃棄物の完全撤去を求めます。」

平成七年十二月十日

廃棄物対策豊島住民会議